

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉市立和庄中学校区 校番10 学校名 呉市立和庄中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	バランスよく焦点化された設定になってる。数値評価されているので評価に説得力を持たせやすい。生徒の現状と指標(目安)のギャップは要検討。
目標達成のための方策の適切さ	A	具体的な行動として計画されている。挨拶は学校だけでなく、家庭・地域との連携をどうするかが必要である。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	達成度に基づき評価されているので適切で、説明力が高いと思います。しかし、取組が正確に把握できるかは、指標の設定の適切さにかかってくるので、説明が必要である。
今後の改善策(案)の適切さ	B	学校として方針は明確である。先生方の行動計画に落とし込んでいくことが大切だと思う。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に関しては、学校だけの問題ではなく教育委員会も一緒になって考えてもらいたい。(人手不足、配置転換の件など) 高等学校の課題とよく似ていることが分かりました。義務教育段階と県立学校の連携を一層深めていくことが大切だと感じた。学校は、外部の支援なしに成り立たなくなっていることを感じた。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>中期経営目標の「健康増進・体力の向上」については、指標の設定と方策の適切さを見直すことを指摘された。この改善策として、新体力テストの結果を踏まえ小中連携し長期的なスパンで健康促進・体力の向上を目指した指標を設定していく。また、短期経営目標の「礼儀正しく節度を守る生徒を育てる」については、学校だけの取組にとどまらず、家庭・地域と連携し社会全体で取り組んでいくことが必要であると指摘された。この改善策として、学校の取組や家庭・地域での様子や取組を情報発信することで、学校・家庭・地域で協力し、自ら進んで挨拶できる子供を育てていく。</p>
--------------------	---